



業種
素材・マテリアル

導入部署・部門
財務経理部

導入前の課題

- ・紙ベースで繁閑の波があるため、繁忙期の残業時間が膨大
- ・担当変更や休職・退職時の業務引継ぎなどの機会で確実な業務品質の維持を担保できない
- ・経費担当者が複数業務を担当することが難しくキャリアやスキルアップの機会が限定される可能性があった

導入後の成果

- ・請求書内容のチェックから仕分作成までオールインで対応してくれて、残業時間を約 50%削減
- ・積極的かつ高品質な対応をしてもらい、大満足
- ・余裕ができ、新しく他の業務にもトライできるようになりました

膨大な業務量による残業が半分以上に!新しい分野にもトライできるようになり「すごく助かる」

光洋マテリア様は、名古屋市昭和区に本社オフィスを構えるマテリアル加工流通会社です。その財務経理部では、以前より請求書の処理に苦慮していました。2020年に入社した財務経理部の稲毛様は、入社当初から月に400件もの請求書を一人で担当していたため、業務が集中し膨大な残業時間が発生していたようです。また、毎月20日に締められたものがまとめで届くため、繁閑の波もあったのです。

そんな状況について財務経理部全体を統括する部長の川村様は、対応として派遣社員を入れようかとも考えていたものの、継続的に業務の品質を担保する”という面を考えると導入には踏み切れなかったようです。

しかし、そのような状況が2020年のコロナ禍を機に、大きく変わることになったのです。「コロナ禍になり、在宅勤務を進めないといけなくなりました。また、同時に2024年から電子帳簿保存法が開始されることになりました。これらに対応するため、電子化の検討をはじめました」と川村様は振り返ります。



光洋マテリア株式会社
財務経理部 部長
川村 様

電子化を模索するなかで、あるクラウド型の請求書受領システムを使うことになった光洋マテリア様。それにより、請求書が届くタイムラグもなくなり、請求書のファイリングも最小限にすることができるようになったよ

うです。稲毛様は、「時間に余裕が出てきたところで、業務委託の検討もはじめました」と口を開くと、続けて川村様が詳しい状況をご説明くださいました。

「『経理 業務委託』などのキーワードで検索して、情報収集をしたところ、『一度詳しく確認してみたいな』と思えたのがパーソルビジネスプロセスデザインでした」

問い合わせをし、打ち合わせを行ったところ「電帳法を満たす点だけでなく、業務の質を落とさずに恒久的に続けられそうな点や、在宅勤務者でも問題なく連携できそうな点から『良いな』と思いましたね」と川村様。

ただし、お互いのコミュニケーションや任せることのできる業務範囲を見極めるため、業務委託は慎重にスタートし、徐々に増やしていく形を取りました。パーソルビジネスプロセスデザインに任せた当初は業務の移管ということもあり、ある程度の“慣れる時間”が必要ではあったものの、慣れてしまうとかなり楽になったようで、稲毛様は次のように声を弾ませます。

「もう今は細かいところを一切見ずに、ポンと投げればすべての確に対応いただけるので、業務時間もかなり圧縮されました」



光洋マテリア株式会社
財務経理部
稲毛 様

過去に膨大になっていた“残業時間”について、川村様は次のように説明くださいました。「単純に計算すると、担当者そのものの残業時間は半分にまで減少しています。しかも、現在は他の業務をやりながらの残業時間なので、実質は半分以上だと思っています」

実際、パーソルビジネスプロセスデザインが光洋マテリア様の業務に費やしている時間は現在のところ月80時間ほどになっており、かなりの負担軽減につながっていることが分かります。半年前に入社し財務経理部に配属された安藤様もその辺りを実感しているようで、気持ちを吐露してくださいました。

「私が入社した時に以前の状況のままでしたら、1から10まで教わらないといけなかったと思います。でも今は、パーソルビジネスプロセスデザインが1から7まで担当してくれて、私が残りの3だけ確認する程度の手間なので、とても助かっています」



光洋マテリア株式会社
財務経理部
安藤 様

また、川村様が「新しいことにトライする環境を作ったかった」と語っていたように、入社したばかりの安藤様も「経費はお願いできている分、多様な業務にも着手できるようになっています」と笑顔を見せてくださいました。

